

みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)
 自宅〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738

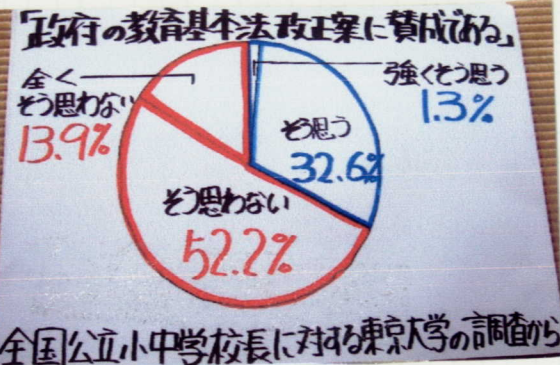
2006年10月 No. 26
 日本共産党笠岡市議団発行
 〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
 Tel63-6001 Fax63-4164
 携帯090-2862-4775

9月議会のご報告をお届けします。



社会的に弱い立場の人との均衡もある。減額などの考えはない。」と答弁しました。横浜市が、子育て支援などで水道・下水道料金減免制度を実施しています。新たな子育て支援策として、水道料金の引き下げを検討されることを強く要望しました。

水道料金値下げに必要な経費
 (対象は中学生以下)
 夫婦・子供2人の家庭 2月の水道料金1500円
 子供1人につき増収分は15,000円×0.1=1,500円
 市内の中学生以下の子供人数7637名=7650名
 水道料金は年6回の支払い
必要経費 15,000円×0.1×7650名×6=6,885万円
 =6900万円



政府は26日開会の臨時国会で、教育基本法改正法案を成立させようとしています。法案に対し、全国の公立小中学校の校長の3分の2が反対していると、東京大学調査で明らかになりました。
 私は、次代を担う子供達の健やかな成長を願い、5項目の質問をしました。

耐震診断、耐震補強について

文科省の4月1日調査によれば、笠岡市の耐震化率は県下17位。その後の耐震診断、補強の状況をたずねました。
 文科省と国交省が3月20日、耐震化の促進をめざし耐震診断を今年度中に完了するよう通知しています。目標の76%を100%に修正し、耐震化率の向上も図る必要があるとたずねました。

県小中学校耐震改修状況

市町村	耐震化率(%)
1 西栗倉村	100
2 新庄村	87.5
3 里庄町	82.4
15 浅口市	54.4
16 総社市	50.0
17 笠岡市	48.4
18 津山市	47.9
27 倉敷市	25.1
28-29 瀬戸内市	25.0

南海・東南海地震対策に向け
 もっと充実を

笠岡湾干拓内への建設残土搬入問題について

夢とロマンのあふれる干拓に、条例に沿った農業指導などしているとのこれまでの答弁。3月議会以後の指導と業者の対応を尋ねました。
 現地は写真のように荒れ放題。指導している、していないの問題ではない。本気で農業をさせようとしているのかどうか疑わざるを得ない。その見解をたずねました。
 干拓関係者は「壊した水路もほったらかしで何がかき栽培じゃ」と言っている。干拓共有財産である水路の修繕、環境整備をさせ、市や業者の姿勢が干拓関係者に分かるようにすべきとたずねました。
 市長答弁は「定期的に土地管理者と連絡している。農業投資への融資先が決まらず、猶予してほ



牛舎に向かって南側より

しいとのこと。こうした繰り返しが続いたら、農地法に基き文書勧告をしたい。」というものでした。
 評判の高い干拓産農産物など、干拓の夢とロマンが開きつつあるからこそ一部不真面目と言え入植者の姿勢を許せません。市長の言う「干拓は重要課題のひとつ」に見合う、干拓作りが進むことを強く要望しました。

子育て支援としての水道料金引き下げについて

県下水道料金(10m³/月)

1 奈義町	2,400
2 笠岡市	2,079
3 吉備中央町	2,057
16 鴨方町	1,555

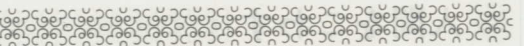
最も安い早島町の約4倍

6月議会で、市長は「子育て支援策としての引き下げ提案はユニークで検討できる提案だ。」との見解を示しました。その後の経過をたずねました。
 また、子供1人につき、一割安くした場合、浅口市とほぼ同額となると指摘。市内の中学生以下の子供の人数は、7637名で、約6900万円が子育て支援に必要な経費。実施してはどうかとたずねました。
 市長は「水道料金を安くすれば一般会計から負担となる。他の施策に影響する。高齢者など

子供に夢を与える動物園、水族館の建設について

北海道旭川市の旭山動物園がたびたび報道され、その取り組みが全国の子供に夢を与えています。市内には子供とのかかわりのある体育施設などは目に入るが、夢とロマンを与える施設は遊園地以外ありません。小規模でも水族館、動物園をつくる考えはないかとたずねました。
 旭山動物園、渋川水族館にも問い合わせました。すぐに旭山動物園並み、渋川水族館並み、を願っているわけではありません。年次計画を立て、検討すべきではないかとたずねました。
 カプトガニ博物館の横にかつての老人憩いの家があります。水族館・昆虫博物館に利用でき

るし恐竜公園内にウサギなど小動物と遊べる動物園も考えられます。博物館を中心に水族館、動物園、すでにある遊園地を含め、子供が遊べる夢を膨らませる公園に作り変えることもできると質問しました。
 市長、教育長の答弁は「全国的に珍しいカプトガニ博物館と自然財産を生かし、市内の子供に夢とロマンを与えたい。」でした。
 休日、子供達の元気な声が聞ける場所があってもいいはず。子供達に夢とロマンを与えるプロジェクトを強く要望しました。



不燃、可燃を問わず、粗大ゴミの年一回無料回収について

「大きなゴミが出たら処分に困る。市は大きなゴミの回収をしてくれないだろうか」という声があります。年一回無料で地域回収を実施してはどうかとたずねました。

隣の井原市は回収品目を限定し、年一度地域回収を行っています。実施すべきとたずねました。

市長答弁は「粗大ゴミの有料収集利用者や直接持ち込みの方との間に不平等感が生ずる。考えていない。」というものでした。

ゴミの有料化が始まり、すでに4年。有料化と分別収集に理解と協力を求めるだけではなく、

今年度高齢者に市民税の増税（増税分約2億円のうち65歳以上は約6400万円）が行われたことから、お年寄りに還元する意味で実施を、と強く要望しました。

17年度決算に反対しました。

2002年3月（H14年3月）で、国の同和対策事業が廃止されました。にもかかわらず、補助が行われているなどの理由で。

2つの請願の採択に頑張りました。

- 1 教育基本法改正には慎重審議を
- 2 私学への大幅公費助成を（1は不採択、2は採択）

あしあと

- 7月
- 7/2 岡山県母親大会
 - 7/3 敬愛園組合議会
 - 7/5 社会を明るくする運動 推進大会
 - 7/9 人権連総会
 - 7/11 環境福祉常任委員会管内視察
 - 7/14 岡山県母親大会打上げ会
 - 7/18 JFE 視察（環境福祉常任委員会）
 - 7/21 山陽高校軟式野球応援 北山下地区下水道説明会

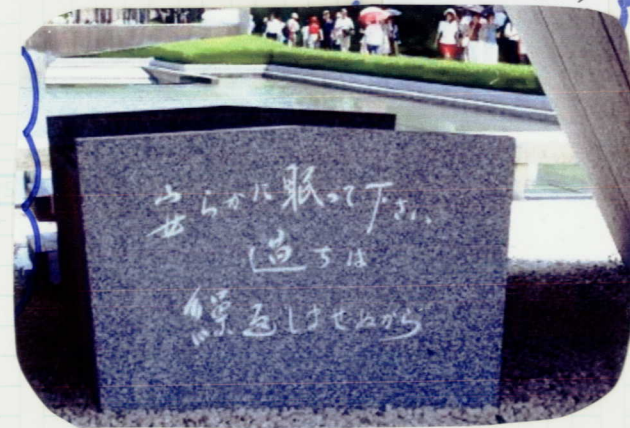
- 7/27 敬愛園夏祭り
- 7/28 新川地区下水道説明会
- 7/16 (湯原), 7/30 (湯郷) 私学助成署名配布

- 8月
- 8/1 国会陳情（国交省・農林水産省 厚生労働省）
 - 8/3 障害福祉の充実を求めて市と懇談 恵風荘夏祭り
 - 8/5 よっちゃやれ
 - 8/6 広島平和記念式典

いつも心に 誓っています



岡山の仲間と 全国大会でパチリ



- 8/8 日本母親大会報告集会
- 8/9 飛島を訪問
- 8/13 家族でリフレッシュ休暇（白石へ海水浴）
- 8/14 金浦中学校同窓会
- 8/15 終戦記念日街頭演説
- 8/17 全員協議会

トピックス

毎年7月末ごろから我が家の窓に顔を見せるヤモリです。年を重ねるたびに大きくなって姿を見せます。来年はどのくらい大きくなって顔を見せるのか楽しみの一つです。



8/20 北木島訪問

大空と大地のひまわりカーニバル

- 8/21 環境福祉常任委員会
- 8/23 「老後を豊かにする会」と共に 市に陳情
- 8/24 土地利用特別委員会
- 8/25 母親連絡会で一日旅行
- 8/26~27 私学父母懇一泊研修
- 8/27 防災訓練（金浦中学校）
- 8/29 金中へ要望（父母3名と自転車通学問題で）

- 9/3 テニスでリフレッシュ（金浦ローンテニスクラブで）
- 9/6 共産党市委員会より介護保険に関する 申し入れ（保険料減免制度拡充など10項目）
- 9/7 金浦中学校であいさつ運動（更正保護女性の会）



- 9/8 母親連絡会で島巡り
- 9/9 金浦中学校運動会
- 9/11 生き生きサロン
- 9/13 ~10/6 9月議会

- 9/17 台風接近に伴い、地域見回り（金浦地区、西の浜、住吉、伏越など）
- 9/22 個人質問
- 9/23 金浦小学校運動会 ケアハウス天神荘落成式 山陽高校サッカー応援



体を張ってボールをキープ

「エー、六島の観光地は……」



ゴメン！ カーニバルには間に合わず、1週間後の顔です。

お世話になりました

台風・高潮 これで安心



- 生江浜防潮堤設置、吉浜土手護岸かさ上げ
- 旭丘粗い路面の修繕、立木枝伐採
- 生江浜水のたまりをなくすよう路面整備
- 農免道追分交差点横断歩道修繕
- 吉田川の橋部分に防潮対策
- 生江浜市道の沈み対策
- 金浦吉田川沿いガードレールの反射鏡取替え
- 吉浜当摩農免道の沈み改善
- ニシナ店敷地内横断歩道緑帯修復
- 相生地区水路改修



お世話になった 皆さん、 ありがとうございます。



見た目もすっきり 歩行者安全

夫の一言

台風13号の接近に伴い17日の夕暮れより妻と二人見回りに出かける。途中「周明、何しとん？」と車から声が。顔を見ると卒業生のN君。「女房と台風の見回り」と答える。「気をつけて。飛ばされるなよ。頑張って」とN君去る。いつも卒業生に励まされ、感謝。風の強くなる中「あいつ大丈夫かな」と心配しながら先を急ぐ。大きな被害もなくほっと一息。夜11時ごろ帰宅。

「世界に届け 核兵器をなくそう！」



- 7/22~23 日本母親大会〔長野〕
- 7/24 臨時議会
- 7/26 平和行進